

## 会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	大淵 修一
担当業務	理事

内 容			
日 付	他団体	会議名	場 所
4 月 6 日		大規模助成金研究報告会	WEB
		第 1 回理事会	ハイブリット
4 月 7 日		組織運営協議会	WEB
5 月 12 日		第 2 回理事会、理事懇談会	WEB
6 月 2 日		第 53 回定時総会	ベルサール汐留
所感		<p>大規模助成金研究報告会について、適切に運営されていることが確認できた。ただし、研究の運営について、協会側から大規模研究の経験のある外部 PM を設置して、それぞれの研究の支援をすることが必要ではないかと考えられた。</p> <p>第 1 回理事会について、「株式会社設立の再検討」について報告がなされた。今後とも十分な説明が理事並び会員に必要と考えられた。学術研修大会は協会事業から切り離し、それぞれの都道府県士会が主催となって運営する方式に改めると良いと考えられる。これにより地域の独自性が出しやすく、自由度が増し会員にとってより日本理学療法士協会を感じられるものになり、かつ協会の事務負担が減る。</p> <p>第 2 回理事会について、定時総会の審議事項について検討を行った。</p> <p>第 53 回定時総会について、協会の予算決算について役員報酬という形で評議員からの指摘が多かったように感じた。最もであると感じる一方で、協会の予算の使われ方を会員にわかるように伝えていないことにも問題があると感じた。その後、予算を分析してみたが、多くの支出は会費の徴収に当てられており（士会、学会を含む）、事業費は極めて少ないことがわかる。こうした実情を十分に周知するとともに、コスト提言のための会費や参加費の徴収の簡素化に理解を求めていかなければいけない。</p>	
報告日		2024・07・02	

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。